

令和3年度  
網走絆プロジェクト 植樹  
R3.06.05

網走タイムズ 記事

# "絆の桜"今年も植樹



## 美岬トンネルの上に

### 井上代表「いつかは名所に」

満開の桜と笑顔があふれる網走を夢見ながら、志半ばでこの世を去った井上隆さん（享年46歳）＝市嘉多山町の遺志を引き継ぐ仲間たちが、今年も道道網走公園線美岬トンネルの上にエゾヤマザクラの苗木を植樹した。

（伊藤）

来年こそ花見をしましょう！



井上さんは生前「道に植えた桜は、すでに花路は人や地域、産業を咲かせるまでに成長つなぐ絆の役割を果たした。」「半面、年を重ねるから、地域で美化活動とともにエゾヤマザクラによる食実践。2010年には青が深刻になり、植樹美岬トンネルの入り口した一帯を防護ネット近くに30本のエゾヤマザクラを植えた。」「長年の夢だった桜並木を見て「将来は、親子で1日過ごせるような場所にしたい」と感慨深げに語った井上さんだが、その翌年に急逝。仲間たちは、井上さんの思いを引き継ぎ、活動を続けようと「網走絆プロジェクト」を発足。毎年、美岬トンネル周辺で桜の苗木を植樹している。」「これまでに植えた桜は約150本。当初は網走絆プロジェクトの桜を植える仲間たち

紙面に掲載された写真を読者に提供しています。問い合わせは本社（45-18080）まで。  
**網走タイムズ**

井上代表によると、最初のころに植えた桜は今年もきれいな花を咲かせたという。能取岬周辺は市街地より気温が低めなこともあり、街中よりも咲くのが遅いという。作業を終え、井上代表は「新型コロナウイルスの感染が収まれば、ここで花見をしたい。市街地より遅い時期に桜を咲かせるので、いつかはここが桜の名所になれば」と話していた。

